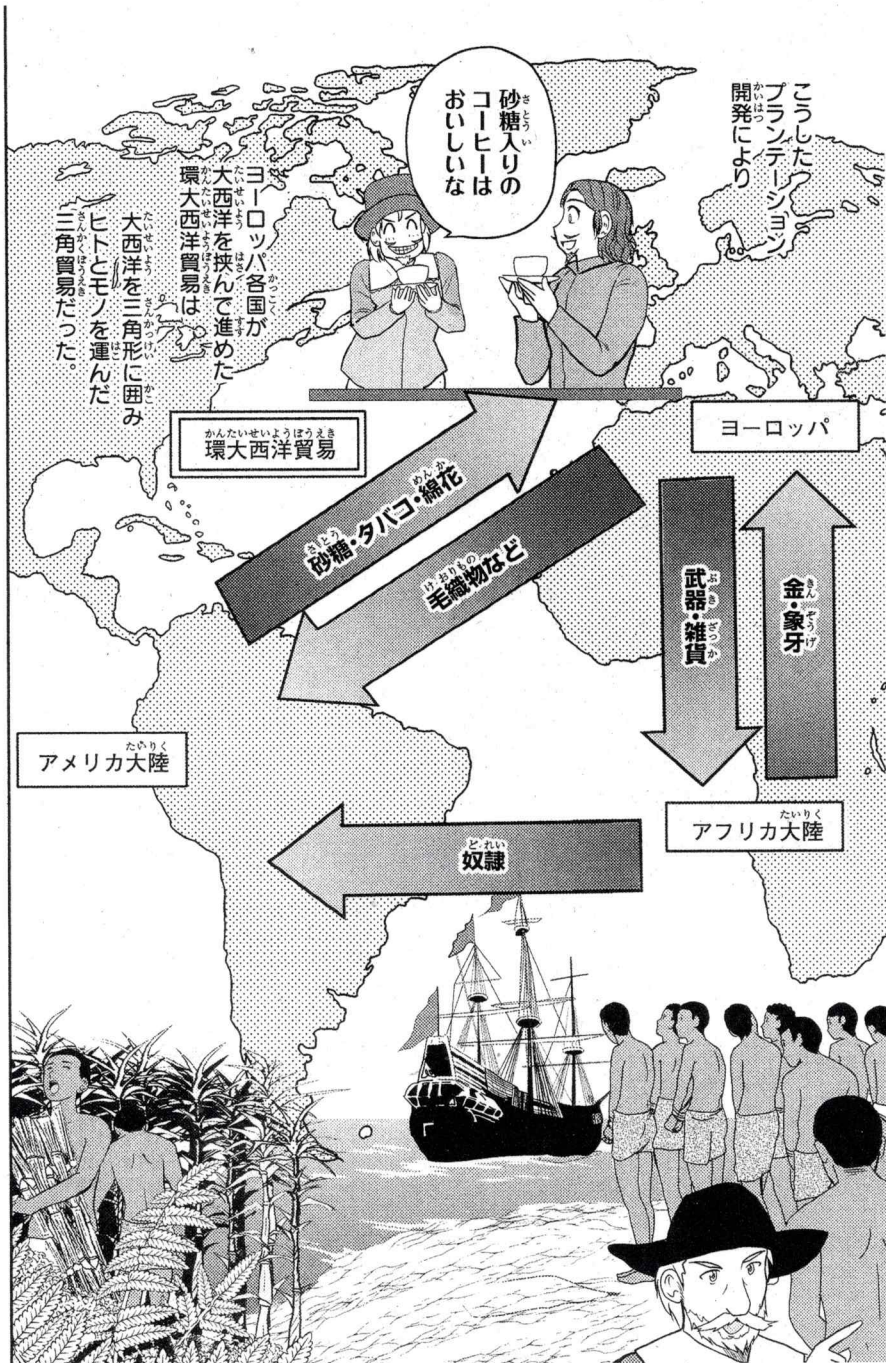




● Culture



角川まんが学習シリーズ「世界の歴史9 ヨーロッパの世界進出」
 ©KADOKAWA CORPORATION 2021 ヨーロッパ各国が、アフリカ大陸とアメリカ大陸での貿易にしのぎを削った様子が描かれる

今もなお残る強制労働

英国の奴隷制廃止に続き、米国では南北戦争後の1865年に廃止されるなど、各国で奴隷制がなくなり、88年のブラジルでの廃止を最後に、奴隷制は消えたかに見えた。

ソング号事件は18世紀に、奴隷貿易の過酷な実態を世間に知らしめたが、布留川名誉教授は、「21世紀に入ってからも世界のどこかでソング号と同じような事態が起こっているかもしれない。奴隷制同様の人権状況は続いている」と指摘する。

2001年には、「奴隷として買われ

た子どもたちを乗せている」と言われた船が、アフリカ大西洋岸のベナンを出港した後、他国で入港を拒否され、洋上を19日間、約2000名さまよう騒動が起きた。アフリカの 카카오 やコーヒーなどの農場の一部では、子どもたちが強制的に働かされている可能性があると言われる。

国際労働機関（ILO）などによる21年時点の推計では、意思に反して労働や結婚を強いられた「現代奴隷制の被害者」が世界に約5000万人いるという。



コレ島に立つ奴隷貿易の歴史を象徴するモニュメント（2005年撮影）

* 歴史研究が深まるにつれて世界史のトピックは見直されています。「世界史アップデート」では、研究成果を反映した最新説を、広く知られた従来説と比較しながら紹介します。「日本史アップデート」と隔週で掲載する予定です。